



今日が楽しく

明日が待ち遠しい学校を目指して

【学校教育目標】

思いやりと実践力を持つ

人間性豊かな生徒の育成(自立貢献)

平戸市立大島中学校
令和7年11月11日(火)
第23号
文責 校長 井元教介

長崎県中総体駅伝競走大会 出場!!

11月5日(火)の11時過ぎから女子全生徒8名で県中総体駅伝大会(トランス・コスモススタジアム長崎(旧諫早陸上競技場)周回コース)に行ってきました。今年度から新コースになり、スタジアム内のトラックでのタスキの受け渡しということで、5日(火)に初めてトラックを使用して練習をしました。

6日(水)の試合当日は競技4時間前には食事をする必要があり、朝5時50分から本明川の河川敷を歩いて諫早駅経由でホテルに戻り、6時30分から朝食をとって、7時30分にホテルを出発しました。会場入り後は軽い運動で体を起こし、決められた各自のアップ時間まで静かに過ごしました。

いよいよスタートの時間になりました。1区は市の大会、見事な走りでも県大会出場を決めた2年生エースの青柳羅愛さんです。スタートの号砲とともに31名の選手が一斉に走りだしました。各チームのエースがそろそろ1区はハイペースになり、自分のペースで走れない選手が多い中、青柳羅愛さんは冷静に自分のペースを守り、競技場を出ていきました。その後は初めての1区、初めての県駅伝大会、初めての3kmレースを見事に走り切り、2区の3年生柳田紗蘭さんにタスキが繋がれました。市の大会よりもアップダウンのあるコースでしたが、前半からとばして自己ベストで走りぬぎ、3区1年生の墨谷心花さんにタスキを渡しました。市大会後はふくらはぎの内側の痛みで十分に練習を積むことができませんでしたが、自己ベストの走りでも4区3年生白石礼羅さんにタスキをつなぎました。ご家族の食事療法で鉄分不足を補ってこの大会に臨み、自己ベストを30秒以上短縮して1名かわし、アンカー5区3年生中野陽菜さんにタスキをつなぎました。陽菜さんも初めての3kmレースでしたが、前半から前の選手を懸命に追いかけて、競技場に入ってからさらにスピードを上げてスタート地点では100m近くあった差を並ぶほどまで縮め、最後の力を振り絞ったラストスパートでゴールを駆け抜けました。残念ながら追い抜くことはできませんでしたが、最後に熱いラストスパートで見ている人たちに感動を与えてくれました。走った5名だけでなく、2年生大島諒子さん、井元ハニカさん、1年生白石陽菜さんのサポートのおかげで無事に県大会を完走できました。素晴らしい走りとおサポートでした。島内のロードでの練習中にも声をお掛けくださり、ありがとうございました。決して走ることが好きで集まったわけではない生徒達のモチベーションを高く保つことができました。出場31校(チーム)中29位でゴールできました。出場校中本校が一番小さな学校でしたが、目標をもって努力すれば様々な経験ができることを証明してくれた生徒たちに感謝と感動の日でした。



国民文化祭(平戸ダンスフェスティバル)

・大島ふるさとまつり 出演!!

11月8日(土)の14時発フェリーで平戸市文化センターに全校生徒15名で移動し、リハーサルを経て、18時からの本番に備えました。新しく新調した15色(15人15色)のTシャツを身にまとい、いつも通り元気に踊り出し、掛け声も大きくまとまって素晴らしい踊りで、フィナーレを飾ることができました。また翌日9日(日)は、始発のフェリーで帰島後、ふれあいバスで移動してふるさと祭りでもダンスと合唱を披露しました。生徒たちは前日に引き続き、元気な姿で歌い、ダンスを楽しく踊っていました。2日間の歌とダンスの旅も終了しましたが、生徒たちがこういった活動を通して地域とつながり、様々な経験をさせていただく中で自信をつけて行動できるようになってくれたらと考えています。

